

目指す姿	事業名	内容
<p>①在宅療養・認知症入退院の支援の基盤が整備され、場面に応じた認知症の初期段階等サービスの提供体制が構築される。</p>	<p>在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会</p>	<p>在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会を年3回開催し、現状の把握と課題の抽出、実施事業の検討・評価を行う。 第1回：令和2年9月24日(木) 第2回：令和2年12月17日(木) 第3回：令和3年3月11日(木)</p>
	<p>在宅医療・救急医療連携ワーキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療情報キットの周知啓発 ・介護施設用シートの普及対策 ・介護施設における急変時対応について対策検討 ・介護施設におけるアドバンスケアプランニング(ACP)の普及対策
	<p>【休止】 多職種連携研修企画ワーキング</p>	<p>※昨年度のワーキングにて、今年度の研修企画決定されているため</p>
	<p>市民啓発ワーキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、在宅看取り、アドバンスケアプランニング(ACP)等の普及啓発を検討。(出前講座の企画、パンフレット等での普及啓発など)
	<p>【終了】 入退院時連携ワーキング</p>	<p>※入退院時の連携ルールを策定でき、ワーキングの目的を達成したため終了する。連携ルールの普及啓発、評価については市事業担当者が実施予定。</p>
	<p>【新設】 医療と介護の情報連携(ICT検討)ワーキング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のICT検討委員会の取組みを引継ぎ、協議を継続する。
	<p>「在宅医療後方支援制度」の運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院関係者意見交換会の開催 ・制度の周知啓発(市内・市外在宅医療実施医療機関)
	<p>「認知症初期集中支援チーム」の稼働</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースの事例集を作成し、医療・介護職等への周知を図る。
	<p>【休止】 認知症対策ワーキング</p>	<p>※周知啓発イベント関係中止、らくらく介護教室は別途実施。本今年度実施予定であった検討事項「認知症の人の意見を取り入れた認知症施策評価方法について」は、紙面上で意見をもらう予定。招集は、来年度以降、改めて開催検討。</p>
	<p>〈認知症家族支援の場〉 「らくらく介護教室」の開催</p>	<p>10/30 保健福祉センターで開催予定</p>
<p>〈認知症当事者支援・家族支援の場〉 「お楽しみ処(認知症カフェ)」の開催 認知症パートナー活動の拡大(訪問支援)</p>	<p>お楽しみ処：8月～ 事前予約制、感染予防対策を実施した上で再開。今年度は、月3回→月2回(保健福祉センター1回、西白井複合センター1回)で実施。 訪問支援：お元気まもり事業を通して、閉じこもりがちな家庭に訪問し、玄関先での交流を試行実施。</p>	

目指す姿	事業名	実施内容
<p>② 上る が関 図係 れ療 る構 ・築 が介 で護 き職 の顔 の資 質見 向え</p>	多職種連携研修会	<p>※新型コロナ感染状況を考慮し、実施の判断、開催方法の変更を検討する。</p>
	各職種の資質向上のための研修会	<p>・「介護施設職員向け急変時対応シミュレーショントレーニング」 ※新型コロナの感染状況を見ながら、開催方法の変更について、在宅医療・救急医療連携ワーキングで検討する。</p> <p>・感染予防対策など、コロナの影響を受けて研修テーマとしてニーズの高まっている内容について調査を行い、実施可能か市事業担当者が検討する。</p>

目指す姿	事業名	実施内容
<p>③ 報医 共有療 ツ・介 ー護 が・普 行政及 し等 、関 係者 の間 で連 携共 有さ れる 。ら れ、 情</p>	救急医療情報キット、介護施設用シートの配布、運用	<p>・救急医療情報キットの継続配布</p> <p>・救急医療情報キットの普及啓発、運用に係る課題の検討については、在宅医療・救急医療連携ワーキングで取り組む。</p>
	入退院時連携ルールBOOKの配布、運用	<p>・市内ケアマネジャー向けに入退院時連携ルールBOOKの再周知を図る</p> <p>・市内医療機関向けにルールBOOK説明会の院内で開催する提案を行う</p> <p>・市ホームページへの掲載を通じて、周知を図る</p>
	<p>【ワーキングとして継続】 「医療と介護の情報共有のためのICT検討委員会」の開催</p>	<p>・医療と介護の情報連携（ICT検討）ワーキングとして、協議を継続する</p>
	徘徊保護高齢者に関する警察との連携体制の構築	<p>警察からの情報提供者について、支援体制を確認または支援につないでいく。</p>

目指す姿	事業名	実施内容
④ 認知症、在宅医療の理解が進む。在宅看取り等についての普及啓発を行い、在宅医療、市民の理解が進む。	「第2回しろい在宅医療フォーラム」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染拡大防止のため、今年度の開催は中止する。 ※市民啓発ワーキングにて、フォーラム以外の手法による周知啓発方法の検討を行う。
	「終活支援ノート」の配布、「終活支援講座」の開催	【終活支援ノート】 ・継続して配布 【終活支援講座】 ・市主催の講座については、新型コロナ感染状況を見ながら少人数制で実施可能か検討する。 ・他機関からの講座依頼については、感染予防対策を実施した上で開催する。
	「認知症周知啓発月間」 「認知症サポーター養成講座」	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市認知症ガイドブックの周知・配布/紹介動画上映会(9/9,10,15.30.10/2.13) ・地域のサロンへの「認知症になっても通い続けられる場」の普及啓発普及啓発内容検討・実施(しろい楽トレ体操サークル再開場所)

目指す姿	事業名	実施内容
⑤ 在宅医療の体制が整えられ、介護連携や医療・認知症に関する相談窓口の整備が整う。	医療・介護関係者からの在宅医療の相談窓口を地域包括支援センター(市内3か所)に設置	相談窓口について周知を図るため、医療・介護関係者へのお知らせやホームページ掲載等に取り組む。 近隣市も含めた医療資源(訪問診療、訪問看護等)の情報整理を行い、医療・介護関係者からの相談時に活用できる体制を整える。
	「認知症ガイドブック」に認知症に関する相談先の情報を掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の周知啓発月間に併せて周知実施(読売新聞・地域新聞等) ・ホームページ掲載 ・各地域包括支援センター、医療機関、薬局、歯科医院等に設置依頼
	「地域包括支援センター」の周知啓発	コロナ対策の一環として、65歳以上高齢者全員に介護予防パンフレットと併せて地域包括支援センターの紹介チラシを送付する。 市ホームページ等、継続して周知に取り組む。